

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	計画期間における具体的目標(B)	令和6年度末目標値等	令和5年度末の状況(D)	本年度の重点的な課題	主な担当部署
1. 心と身体を子どもの成長に合わせはぐくむ	教育相談体制の充実	教育相談体制の推進	個別の生徒対応度 90%以上 (生徒アンケート 全学年平均)	個別の生徒対応度86.8%	カウンセリングシステムの保護者・生徒への周知を強化していく。働き方改革を推進することで、教員が生徒に向き合う時間を確保する。	生徒支援部
	学校保健活動の充実	バランスのとれた感染症対策と教育活動の実施	学校保健委員会の開催年2回	3月に1回開催予定	今年度はインフルエンザによる休業が4回あった。引き続き、感染防止対策に力を入れていく。	生徒支援部
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり	個人探究週間の活用	授業満足度 80%以上 (生徒授業アンケート 全項目平均)	授業満足度81.1%	個人探究週間の午後や授業交流期間の積極的な活用方策を検討する必要がある。	教務部
	ICTの効果的な活用	アプリ活用などの好事例の共有	ICT活用度 80%以上 (生徒授業アンケート 教科総合平均)	ICT活用度79.7%	アプリなどの個に応じた活用の仕方について、研究を進める。令和8年度を目標に端末の自由化を検討する。	ESD部
	働き方改革を念頭においた職場環境の整備	分掌間の連携・調整	総合健康リスク 100以下 (教職員ストレスチェック)	107	診断結果を分析し、検討チームを立ち上げて、業務改善を図っていく。外部の支援員の活用なども検討する。	管理職
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリアサポート体制の整備	2期生の進路実現に向けた全校支援体制の構築	進路支援度 90%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)	進路支援度84.8%	多様な進路希望や入試等に学校全体で対応できる支援体制を構築する。	キャリア支援部
	インターンシップやフィールドワークの充実	受け入れ機関の開発	参加率 25%以上 (3年間の参加者累計)	アカデミックインターンシップ 96.7%(2期生の累計)	アカデミックインターンシップを充実させる。大学での先取り履修が可能になるような仕組みを検討する。	キャリア支援部
4. 地域と協働して活躍する人を育	平和の文化の促進 (グローバルマインドの涵養)	海外連携校の開発	海外連携校 10校 (3年間の累計)	オンライン交流実施校9校	交流校の生徒の受け入れや交流校訪問など、対面での国際交流を充実させる。	ESD部
	外部機関との連携の促進	大学や地域など関係機関との連携強化	外部機関との連携回数 50回 (3年間の累計)	外部機関と連携した行事の回数93回	連携が多岐にわたるため、連携の窓口を整理する必要がある。	ESD部
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	国際視点の人権教育、多文化理解の推進	豊かな心を育む人権教育推進体制の構築	満足度 95%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)	満足度89.3%	ミッション実現のための取組を継続するとともに、広報活動にも力を入れる。授業体験などを通して、保護者の理解を深められるように取り組む。	全員
	個に応じた指導の効果的な実施	より良い観点別評価の方法	多面的評価満足度 90%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)	多面的評価満足度88.4%	主体的な学びの評価の好事例を共有し、より一層指導と評価の一体化につとめる。	教務部
	特別支援教育の推進	個別の指導計画の活用の徹底	個別の学習指導計画シート活用率 100%	個別の学習指導計画シート活用率100%	支援が必要な生徒に学年、学校全体で対応できる体制を構築する。学校全体のユニバーサルデザインを推進する。	生徒支援部